



2021(令和3年)を迎えて

新年あけましておめでとうございます



今年はコロナ禍で「あたらしい生活様式」の中での令和3年をそれぞれの想いで迎えられたと思います。生徒のみなさん、保護者のみなさま、地域のみなさま方におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2020年(令和2年)はコロナウイルスの影響で生活様式がガラリと変わってしまい、今まで当たり前に行われてきた行事や取組などが開催縮小や中止を余儀なくされました。年始以降も感染拡大防止対策をしながら「新しい生活様式」の中で過ごしていくことになりますが、今年はワクチンの開発が進むなど明るい兆しが見えつつあります。また、延期になっていた東京オリンピック・パラリンピックがいよいよ開催される予定で、世界的なビッグイベントが日本で開催されるのを機に、日本がそして世界が新型コロナウイルス感染症に負けず飛躍する年にしたいものです。



さて、今日から3学期が始まります。1・2年生は51日、3年生は47日です。短い期間ですが、3年生にとっては進路決定や卒業式があり、中学校生活最後の3か月となります。残り少なくなってきましたが、仲間と共に一緒に充実した日々を過ごして下さい。1・2年生にとっても今年度のまとめと来年度の準備をする大事な期間でもあります。全校生徒のみなさん、これからも感染予防対策を徹底し、体調管理には十分に気をつけて、一日一日を大切に学校生活を過ごしましょう。

「一年の計は元旦にあり」という言葉はよく聞いたことがあると思います。この言葉の由来はいくつかの説がありますが、その一つに、日本の戦国時代の武将で、「三本の矢」で有名な毛利元就の言葉から来ているという説があります。その言葉とは、

『一年の計は春にあり』(ここでの「春」とは、年の初めのことです。)

『一月の計は朔(ついたち)にあり』(「朔」とは、その月の初めの日ことです。)

『一日の計は鶏鳴にあり』(鶏鳴とは、その日の朝、一番鶏が鳴く早朝のことです。)



この言葉の意味は、「新しい一年の計画は、その年の初めに、月の計画は月の初めの日に、そして、今日の計画は、朝早くに立てる」べきである。さらに毛利元就が言いたかったのは、元旦、月初めの日、その日の朝に計画を立てるだけでは意味がなく、元旦、朔、鶏鳴からスタートし、計画を実行していきなさいと言っていると思います。何事も最初が肝心であるということだと思いましたが、1年のスタートという節目に、これから始まる1年のことをじっくりと考え、新しい目標や計画を立ててほしいと思います。

もう一つの説も紹介しますと、中国の明の時代の学者で、馮慶京(ひょうおうきょう)が著した「月令広義(げつれいこうぎ)」という中国の年中行事、儀式を解説した本の中に、「四計」というものがあり、

『一日の計は晨(あした)にあり』(一日の計画は晨(あした)＝朝に立てることが大事)

『一年の計は春にあり』(一年の計画は年の最初に立てることが大事)

『一生の計は勤にあり』(一生の計画は真面目に働くこと＝努力することで決まる)

『一家の計は身(み)にあり』(一家の将来は身の振り方や生き方で決まる) ということを表しています。

何事も最初が肝心ではあるけれども、そのあとの努力やどう行動するかがとても大事であるということだと思います。これからの3学期、そしてこの一年を気持ち新たに、しっかりと目標や計画を立て、充実した令和3年にしていきたいと思います。

そして、今年は十二支でいえば「丑」年です。この「丑」という字は、中国で生まれた漢字で、本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。これを後に覚えやすくするために「牛」の意味が与えられました。



「牛」は古くから酪農や農業で人間を助けてくれる重要な生き物です。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれることから、「丑年」は「我慢(耐える)」や「発展の前ぶれ(芽が出る)」を表す年になると言われています。まだ今年もコロナ感染が拡大し、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、ワクチンの完成も近づいてきています。一人ひとりが地道に突き進むことで新たな発展へと繋げる年にしていきたいと思います。

11月末～12月のおもなできごと



【小中交流会…11月26日（木）】

11月26日（木）に、令和2年度「小中交流会」を八瀬小学校・上高野小学校・修学院第二小学校の6年生とリモートでおこないました。

（修学院小学校とは、2月に実施する予定です。）例年は、修学院中学校に小学6年生が一同に集まり、模擬授業を受けたり、部活動ミニ体験やゲームをするなど、本校生徒会本部を中心に交流していたのですが、今年度はコロナ禍で本校からリモートで各小学校へ中学校の校舎案内や学校行事・クラブ紹介などを発信しました。また、事前アンケートから小学生からの質問に返答するなど、感染防止対策として、今できることを考えた取組でした。



【人権学習（全学年）…12月】

12月は人権月間として、各学年がこの時期に人権について、あらためてしっかりと学習しました。1年生は「違いを知る・しょうがいしゃ理解について」、2年生は「国際理解・外国人問題について」、3年生は「同和問題を含む人権諸問題について」それぞれ学習しました。

1年生は、実際に車椅子バスケットをされている方々を講師として、体験やお話を聴く事を通して、共に生きていくことを学習しました。2年生は、現在日本にいる外国人について考え、在日コリアンの歴史的背景と現状について学習し、3年生は、日常生活の中の差別意識の存在や差別の不当性について考えました。この時期だけでなく、今後もどの学年も継続して学習を深めていきます。



【左京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会より3年生への応援メッセージ】

左京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会より、中学3年生に向けた応援メッセージポスターを左京区中学校8校にそれぞれ贈呈していただきました。3年生の南校舎の階段に本校生徒に寄せられた温かいメッセージを掲示させていただきました。コロナ禍の中、今年度は今できることで、未来を生き抜く子どもたちを応援できないものかと考え、中学3年生に応援する気持ちを伝えたいという思いで、左京区の各種団体がメッセージを寄せていただきました。心のこもったメッセージが希望の進路を目指し努力する3年生の心に響き、励まされるものばかりでした。



【修二「笑顔のアート展」に本校美術部が出展】

11月20日～12月15日まで、修二社会福祉協議会が主催されました「笑顔のアート展」に本校美術部員が描いた似顔絵が展示されました。



コロナによる鬱積した空気を吹き飛ばし、学区内が笑顔で溢れるようにと、学区内の施設が参加し、笑顔の写真や似顔絵を修二小学校西門と修学院中学校東門に展示されました。多くの生徒や保護者・地域の方々が足を止め、笑顔の写真や似顔絵を見て心を癒やしていただいたと思います。



【1月のおもな学校行事】

- ・1月14日（木）…6限「避難訓練」
- ・1月21日（木）～1月22日（金）…3年第4回定期テスト
- ・1月22日（金）…3年生 午後面接練習

